

# 幼稚園の教育って

生活科を軸にした幼小連携に向けて、幼稚園の教育を理解することが大切です。幼稚園の生活や指導観・子ども観等を理解し、よりよい連携を図るようにしましょう。

幼稚園の1日



気持ちよく一日がスタートするように笑顔で出迎える。

8 : 30 登園

- 登園時の活動（身支度・提出物・片付け）
- 家からの伝言

8 : 40 遊び

- 興味のある活動を中心に遊ぶ

## 興味のある活動とは？

好きな場所で思い思いの遊びに取り組みます。例えば、ごっこ遊び、運動遊び、制作遊びなどです。一日のリズムが細切れにならないように十分時間をとります。

10 : 50 後片付け

遊びが充実していれば、片付けもてきぱきできます。

11 : 10 降園前

- 先生と一緒に紙芝居や絵本も見る

身支度を整え、しつとりと紙芝居の読み聞かせをします。今日一日を振り返ったり、明日の予定を聞いたりします。

11 : 30 降園（※ お弁当を持ってくることもあります。その場合は、降園は午後になります。）

落ち着いた気持ちで帰ることができるように一人一人と丁寧にあいさつします。保護者とのコミュニケーションが絆を深めます。

## 幼稚園では遊んでばかりいる のですか？

- 園児にとって遊びは学習そのものです。遊びの中に学びがあります。例えば、遊びの中から約束やきまりを知ります。友達と遊ぶとき、わがままもしますが我慢することを知ります。友達とのつながりから人間関係を深めます。ザリガニに触れることで気づき、言葉で話し始めます。カレンダーで数を知ります。
- 幼稚園では、こうした園児の遊びをサポートしています。年間計画に基づき、時期や子どもの実態に応じて環境を整えます。何よりも安心して遊べる環境を保障しようとしています。

## 好きな遊びばかりして大丈夫 のですか？

- 自分のしたいことにとことん取り組むことで、子どもの主体性が育ちます。ひとりぼっちで遊んでいる子ども、心が安定し気持ちが解放されてくると、友達を求め、遊びに参加するようになります。こんな時、保育者は見守るようにしています。この見守ることが大事になります。
- 年齢によっても遊びは変わります。明確な線引きはできませんが、3歳児は自分の世界に浸ります。何度も何度も同じ遊びを繰り返し、心が動いたものにかかわります。  
4歳児になるといつも自分が中心で、友達とよく遊ぶけれどもいざこざが絶えません。一度決めたらとことんやり、力をおしみません。  
5歳児になると自分の役割を自覚し始めて、友達と協力して遊ぶことが多くなります。組織をつくって遊ぶため仲間の出入りが激しく、やはりいざこざが絶えません。  
このように子どもたちは遊ぶことによって学び、小学校での学びの準備をしているのです。

## 文字は教えないの？

- 一斉に文字を教えることはありません。ただし、子どもたちが読んでみたいと思うような環境を整えます。たとえば、絵本をたくさん読んで聞かせたり、さりげなく興味をひく絵本を置いてみたりします。

### 参考文献

- ・ 東京学芸大学附属竹早小学校・幼稚園（2007）「小1プロブレム？学校プロブレム？できることから始めよう！」東洋館出版社
- ・ 国立教育政策研究所教育課程研究センター（2005）「幼児期から児童期への教育」ひかりのくに株式会社
- ・ 岩田純一／河嶋喜矩子〔編〕（2004）「新しい幼児教育を学ぶ人のために」世界思想社